

初公開 スイス・バウアーコレクション

浮世絵 美の極致

きわみ

- 主 催 千葉市美術館 / 毎日新聞社
- 後 援 国際浮世絵学会 / バウアーコレクション
- 協 賛 財団法人 アタチ伝統木版画技術保存財団
- 企 画 協力 日本航空、カトーレック、サンオフィス



当世踊子揃 三番叟

喜多川歌麿

喜多川歌麿「当世踊子揃 三番叟」

collections
baur
r
genève

平成13年 1月4日(木) → 2月4日(日)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

休館日 = 月曜日(1月8日は開館、9日は休館)
 開館時間 = 午前10時～午後6時 * 金曜日は午後8時まで開館
 入場料 = 一般 800円(640円) / 大学・高校生 560円(450円) / 中学・小学生 240円(200円)
 *()内は前売・団体30名以上

* 入館は30分前まで

JR「千葉駅」東口下車、京成「千葉中央駅」下車
 ハローダイヤル 043-227-8600
 ホームページ <http://www.city.chiba.jp/art>



スイスの歴史的都市ジュネーブにあるパウアーコレクションは審美眼に優れた実業家アルフレッド・パウアー氏が収集した東洋美術のコレクションです。浮世絵、陶磁器、漆工芸品、根付、刀装具など日本の美術も豊富に所蔵しており、その優れた内容はヨーロッパ屈指のものと評価されています。

このうちパウアー氏が、20世紀前半の40年ほどの間に収集したという600点ほどの浮世絵は、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重といった主要絵師たちの重要な作品も含まれる魅力的なものです。今回の展覧会では、中でも優れた200点が選ばれており、新春にふさわしい華やかな展示となります。とりわけ歌麿・写楽とその周辺絵師たちの時代、またほぼ完璧な保存状態を誇る幕末の作品群は圧巻といえるでしょう。

ながく公開を切望されながらも、これまでパウアーコレクションの浮世絵が外部で展示される機会は大変少なく、出品作品のほとんどが世界初公開となります。



鈴木春信「風流五色墨素丸」



葛飾北斎「富士三十六景 山下白雨」



三代歌川豊国「十二月之内 師走餅つき」



東洲斎写楽「三代市川高麗蔵の志賀大七」

■関連企画

- 浮世絵版画 摺の実演と解説
2月3日(土) 午後2時～ 11階講堂
入場無料 / 定員150名
講師 / アタチ版画研究所 安達以年氏
- キャラトーク(当館学芸員による)
毎週木曜日 いずれも午後2時～
参加自由 / 当日8階展示室入口に集合

■今後の展覧会予定

- 第32回千葉市民美術展覧会
3月10日(土)～3月30日(金)
- MINIMAL MAXIMAL
4月10日(火)～6月3日(日)

■交通案内

- JR千葉駅東口
徒歩約15分
のりばのりより「大和橋」下車徒歩2分
千葉都市モノレール県庁前行「葭川公園」下車徒歩5分
無料巡回シャトルバス・チーバス(のりばあり)
「中央区役所・美術館前」下車
(駅前を11:05～18:35の毎時05分と35分に発車、水曜日運休)
- 京成電鉄千葉中央駅東口より徒歩約10分

千葉市美術館

ハローダイヤル：043-227-8600
ホームページ：http://www.city.chiba.jp/art

